

日 時：平成 28 年 10 月 19 日(水) 19：00～ 場 所：かでの 2・7 (910)

出席者：藤澤(PT3 期)，小山(OT3 期)，坂口(PT4 期)，渋谷(PT6 期)

中園(PT8 期)，加藤(ST3 期)，中山(PT9 期)

【議題】

1) 合同研修会の報告（中園学術局長）

研修会報告

- ・会場・講師控室などの準備に余念がなく円滑に進めることができた
- ・アンケートから土曜日開催の希望が多かった。
- ・太田誠学院長より内容が非常に良かった。正規ルートで独立している研修会などは今後も継続して行ってほしいとお褒めのお言葉を頂いた。

研修会収支報告

- ・太田誠学院長の講師謝金分，参加人数が予測を上回ったことにより予算を大幅に下回ることができた。

*アンケートのコメント欄に対する回答を近日中に HP へアップする。

2) PT 研修会の報告（中園学術局長）

研修会報告

- ・参加人数は 9 名と予測を下回ったが，その分研修会の時間が過ぎても講師と受講者で話し合うなど内容の濃い研修会となった。
- ・アンケートの結果は全体的に満足度が高かった。

研修会収支報告

- ・研修会時間の短縮，講師日帰り，学術局員の運営人数が少なかったことなどにより，予算を大幅に下回ることができた。

3) ST 勉強会の報告（加藤学術副局長）

研修会報告

- ・網走の研修会と重なったが十分に盛り上がった。
- ・参加した同窓生の学期が幅広かったため，様々な情報交換ができた。

研修会収支報告

- ・学術局員の交通費，印刷製本費が予算を下回ったため予算内に収めることができた。

・講師宿泊費が¥12,000であったが、同窓会の会則では¥10,000となっている。そのため、規約以上の支出になる際は会長へ報告し決裁を得るようにする。

4) 同窓会費回収の件について（藤澤会長）

- ・17期2名の集金が行えていない。
- ・現状の集金分に関しては1月末までに決算としてまとめ、今年度の決算報告の際に特別収入として計上する。

5) OT 学術局について（藤澤会長）

- ・会則上は1名の配属が義務付けられているため、会則に則り年内に昇格する幹事を決めて役員メールで報告する。

6) 今後のデータ管理について（渋谷広報局長）

広報局ではプライバシー性の高い同窓会会員のメールアドレスを管理している。

現在は学校法人のサーバに保管しているが、専門学校は平成30年3月にて閉校となるため、その後のデータ管理の方法を模索する必要がある。考えられる案としては以下の通り

- ①日本医療大学を通して学校法人のサーバを継続利用させてもらう
⇒教員の窓口が必要
- ②現在利用中のレンタルサーバを利用する⇒使いづらい
- ③他のクラウドサーバ（Dropbox、Evernote など）を新規利用する
- ④パソコンや外付けハードディスクなどを購入して保存する：バックアップ必要
- ⑤その他

- ・③の案であるドロップボックスで検討し次回役員会の際に確認する

7) 来年度の計画について（坂口副会長）

- ・19期生と20期生は同窓会の恩恵を受ける機会が他の期と比べて非常に少ないと予想されるため、研修会の頻度をどのようにするか検討していく必要がある。
- ・以上のことから、研修会内容を4~5年目に焦点を当て、まずは各期に研修会で行ってほしい内容をアンケートしてみる。

・PT は坂口副会長，OT は清本先生（坂口副会長が依頼） ， ST は加藤副学術局長が実施する．

8) 来年度の活動について（坂口副会長）

【7) 来年度の計画について】の内容を基に各局で研修会の計画を立て，次回の役員会までに予算などを立案する．

次回役員会

2月吉日（時間未定） 日本福祉リハビリテーション学院